

分かる快感!

Z会ナビ

算数

理科

▶歴史

地理

お題

江戸時代に大名行列を 行ったのはなぜ?

(東京大学 1983年 日本史)

「Z会ナビ」が

Webサイト

でも読めます!



Z会おとナビ新聞

検索

これまでの内容も掲載しています!

参勤交代は、江戸時代の安定して豊かな社会を築くのに、大きな役割を果たしたと考えられています。しかし、江戸幕府はそのような効果を期待して、参勤交代を義務付けたわけではありませんでした。江戸幕府は、なぜ参勤交代の制度を設けたのか、戦国時代の社会の動きをふまえて、理由を説明しなさい。

みなさんは時代劇などで「大名行列」の様子を見たことがありますか? 籠に乗った大名(今で言う都道府県や郡くらいの広さの土地を支配した、有力な武士のことです)がたくさんの家来を連れて行進していますね。あの大名行列の多くは、自分の領地と将軍のいる江戸とを行き来するためのものでした。江戸時代の大名たちには、領地と江戸を定期的に行き来する「参勤交代」が義務付けられていたのです。江戸幕府は、なぜこのような制度を設けたのでしょうか。

安定した豊かな時代に

鉄道や自動車などがない江戸時代に、領地と江戸を行き来するのはとても大変なことでした。場所によっては江戸に着くまでに1か月以上かかることもあり、日数がかかればそれだけお金もかかりました。江戸に行くだけで数億円(!)かかったのではないかと、とする説もあります。定期的にこれだけの出費があれば、幕府に刃向かうための兵隊や武器を集めることは困難になりますね。江戸幕府が250年もの長い間続くことができたのは、参勤交代により幕府



イラスト・瑞木匠

理由と異なる 思わぬ効果

に刃向かう大名の力をそいだことが背景にあると考えられています。

また、大名行列が定期的に行き来することにより、江戸と各地を結ぶ交通網が整備され、行列の通り道には宿屋などの街が栄えました。これにより大名以外の人々やモノの行き来もさかんになり、人々の生活が豊かになりました。

このように、さまざまな効果をもたらした参勤交代ですが、江戸幕府がこのような制度を設けた理由は、まったく別のものだったのです。

その背景には戦国時代の名残が

江戸幕府が参勤交代の制度を設けた理由には、戦国時代の社会の動きが大きく影響していました。戦国時代には、戦国大名と呼ばれる武士がそれぞれ自分の領地を独自の方法で支配していました。戦国大名たちは、多くの家臣を自分の城の近くに住ませ、戦いの際には彼らを兵士として集めていました。戦いのときに軍の一員として働くことが、主人である大名への忠誠を示す方法だったのです。

江戸幕府を開いた徳川家康は、その戦国大名たちを自分の家臣にすることで、全国統一を果たしました。しかし、全国統一後の平和な世には、主人への忠誠を示す場であった戦いがありません。

そこで設けられたのが、定期的に江戸に参上するという参勤交代の制度でした。お金と時間をかけて将軍の下に参上する参勤交代は、戦いのない平和な世において、将軍に忠誠を示す、新たな方法だったのです。【Z会・河原井彩】

! 今回の教訓

物事には、時に、もともとの理由とはまったく違った効果が表れることがあります。



河原井彩さん 2007年にZ会入社。大学受験用の日本史、政治・経済の教材編集を経て、現在は小学生向けデジタル通信教育「デジタルZ」を担当。新潟県生まれの埼玉県育ち。